

オーダーメイドなプログラムを楽しむ後期研修

筑波大学附属病院 総合医コース レジデント

筑波メディカルセンター病院 総合診療科

浜野 淳

① なぜこのプログラムを選んだか?

「研修プログラムの選択肢が多いから!!」と答えることは多いけど、恐らくここに書ききれないぐらいの細かい&くだらないことが理由で筑波大学附属病院 総合医コース（以下総合医コース）を選んだと思います（採用してくれた諸先生方ごめんなさい m(_ _)m）。

まあ、なるべく簡潔明瞭にすると、「将来は家庭医になりたいけど、そのためにはどんな研修がいいのか?」という悩みを受け止めてくれる指導医の存在、家庭医+α（救急・緩和・スポーツ医学など）もやりたい自分の欲望(?)を満たしてくれる自由度、そして自分の夢についてきちんと話を聞いてくれて、的確なアドバイスをくれるプログラム責任者がいたりするところが決め手かな。

② 後期研修の内容

総合医コースには、HP (<http://www.soshin.umin.jp/>)にあるように、いろんな選択肢があります。今年（卒後4年目）は、筑波メディカルセンター病院という急性期病院の総合診療科で一般外来・病棟、緩和ケア病棟、救急外来を中心としたバラエティーに富んだ研修をしています。救急外来で子供の風邪や外傷患者を診ながら、緩和ケア病棟で看取りをしたり…という感じでしょうか。去年は筑波大学総合診療部で「量より質」を重視した研修をしたので、今年はその経験を生

かした「実地訓練」というイメージです。また、総合診療科に回ってくる1年目の先生に鋭い質問をされても、動揺しない(ふり)をする演技力も身につくつあります(^_^) この原稿を書いている段階(2005年11月頃)では、まだ来年(2006年度)の研修が決まっていないのですが、この雑誌が発刊される頃には、きっと自分がやりたい&必要なことを考えて決まっていると思います。

③ 初期研修医へのアドバイス

最近「後期研修どうしたら良いですか?」という質問をたくさん受けるようになりました。つい先日までは逆だったので「年を取ったということかな…」と感じる今日この頃ですが、いつも「将来は何したいの?」ってワンパターンで切り返しています。僕は「逆算方式」で研修を考えているので、まずゴールを決めてから、方法を選んでいきます。このやり方が良いかわからないけど「こんな考え方もアリでしょ?」って開き直っています。後期研修を決めるときに「選択をミスったらどうしよう」とか思うかもしれないけど、大丈夫ですよ! 自分のキャリアは思っているほど、修正の利かないものではありません。むしろ、紆余曲折なく自分の思い描いたシナリオ通りに研修した人の方が少ないんじゃないかな? 「最初はこんなはずじゃなかったんだけどね〜」って楽しそうに仕事している先輩をたくさん見掛けますよ。まずは、自分が「これだっ!」と思った道に飛び込んでみたらどうでしょうか?(無責任でごめんなさい…)



↑レジデントたちで前野哲博先生（総合医コース責任者）の Birthday party をしました。左から2番目が筆者です。

プロフィール

浜野 淳 (Jun HAMANO)

筑波大学附属病院 総合医コース レジデント、筑波メディカルセンター病院 総合診療科。

専門：家庭医療・総合診療。

2002年筑波大学卒業。同年筑波メディカルセンター病院 臨床研修医。2004年より現在のプログラムに所属。総合医コースに興味のある方は<http://www.soshin.umin.jp/>をご覧ください。細かい話とかは僕で良ければ、いつでもご相談にのれると思うので気軽に連絡くださいな(junhamano@aol.com)。

つくばと東京は50分ぐらいで行けるようになったので、見学もどうぞ!!